

# 単元プランシート 【記入例】

指導者名【 】

## 第4学年 指導領域「読むこと」（教材名「アップとルーズで伝える」）

育成したい資質・能力

- ・ 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。（思考力、判断力、表現力等 Cア）
- ・ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。（知識及び技能 2ア）

単元名 「 段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう 」(全7時間)

児童の実態					これまでの学習との関連	
・1学期の教材「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」の学習において、第3学年の既習教材「言葉で遊ぼう」と比較して読むことにより、大事な言葉や文に気をつけて段落ごとに何が書かれているのかを意識して読むことができた。 ・筆者の考えと事例の関係について、叙述を基に段落相互の関係を捉えることや筆者の説明の仕方について考えることに課題が見られた。					国語科「大きな力を出す」 「動いて、考えて、また動く」	
次	時	学習のねらい	学習活動	具体的な支援の手立て	概ね満足できる姿	ポイント・準備物
第一次	1	単元のめあてを知り、学習の見通しをもつ。	<u>学習の見通しをもとう</u> ①単元のゴール「段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう」を知る。 ②題名から何についての文章かを考える。 ③実際のサッカーの動画を視聴して、テレビ局が伝えたいことに応じてアップやルーズを使い分けていることを確認する。 ④「動いて、考えて、また動く」の学習では、どのように読むことで説明の工夫を見つけたかを想起する。 ⑤「アップとルーズで伝える」という説明文ならではの説明の工夫を見つけることを意識して全文を通読する。 ⑥学習を振り返る。	①「動いて、考えて、また動く」の学びの足あとシートの振り返りから、筆者が考えを伝えるためにどんな工夫をしていたかを想起する。 ④「動いて、考えて、また動く」の学習でどのようにして説明の工夫を見つけたかを想起したことを画用紙に書き、次時以降の学習に生かす。	単元のめあてを知り、学習の見通しをもっている。	・「動いて、考えて、また動く」学びの足あとシート ・「動いて、考えて、また動く」全文シート ・「アップとルーズで伝える」全文シート ・写真「アップ/ルーズ」 ・サッカーの試合の動画 ・画用紙
	2	これまでの学習を基に、学習計画を立てる。	<u>これまでの学習を思い出し、学習計画を立てよう</u> ①本時のめあてを確かめ、前時の学習を想起する。 ②学習計画を立てる。 ③学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	①第1時で整理した「動いて、考えて、また動く」の説明の工夫をまとめた画用紙を提示する。 ②次の単元「『クラブ活動リーフレット』を作ろう」で例示されている「一人で、みんなで、楽しい一輪車クラブ」の題名を知らせ、伝えたいことを伝えるための工夫を見つけるという見通しをもてるようにする。	これまでの学習を基に、学習の進め方を考えている。	・「動いて、考えて、また動く」学びの足あとシート ・学習計画を書くための短冊 ・説明の工夫を書いた画用紙（書き加えていく）
第二次	3	段落同士の関係を捉える。	<u>段落どうしの関係を考えよう</u> ①段落と写真の対応、形式段落の数、文章の話題、文章全体の構成を全文シートで確かめる。 ②文章全体の構成から、筆者の考えを捉える。 ③考えを支える事例が書かれている段落を見つける。 ④各段落が主に何について書かれている段落か確認する。 ⑤学習を振り返る。	①説明的な文章を用いた学習の活動内容について想起する。 ①③全文シートに書き込む。 ②④全文シートに筆者の考えとそれを支える事例を色分けして印をつける。 ②第1段落、第2段落は第3段落とどのような関係があるか考える。 ③筆者は考えを伝えるためにどのような事例を挙げているか考える。	考えとそれを支える事例といった段落同士の関係を捉えている。	・「アップとルーズで伝える」全文シート ・「アップとルーズで伝える」学びの足あとシート ・教科書で使われている写真を拡大したもの ・色鉛筆 ・説明の工夫を書いた画用紙

この単元での言語活動

説明のしかたを考えてまとめる



第三次	4	「アップ」と「ルーズ」を対比して説明することのよさについて考える。	<p><b>事例の説明のしかたについて考えよう</b></p> <p>①第4段落と第5段落では「何を」「どのように」説明されているか意識しながら読む。</p> <p>②第4段落と第5段落では「何を」「どのように」説明されているか整理する。(第6段落の役割を確認する)</p> <p>③対比について知る。</p> <p>④対比して説明することのよさについて考える。</p> <p>⑤学習を振り返る。</p>	<p>②「しかし」「でも」に印をつけて着目し、「アップ」と「ルーズ」がそれぞれ伝えられることと伝えられないことを整理する。</p> <p>②第4・5段落ともに長所一短所が書かれており、両者が対比されていることを図示して捉えやすいようにする。</p> <p>③対比とは、二つのものを比べて違いをはっきりさせることだということを知らせる。</p>	対比して説明するよさについて考えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アップとルーズで伝える」全文シート</li> <li>・「アップとルーズで伝える」学びの足あとシート</li> </ul>
	5	段落の役割を考える。	<p><b>段落の役割を考えよう</b></p> <p>①第7・8段落の内容と役割について考える。(第7段落=別の事例、第8段落=文章全体のまとめ)</p> <p>②全文を読み返し、各段落の役割を確かめる。</p> <p>③学習を振り返る。</p>	<p>①実際の新聞を提示して、実感が伴うようにする。</p> <p>②全文シートに書き込む。</p>	第7段落の役割について考えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アップとルーズで伝える」全文シート</li> <li>・「アップとルーズで伝える」学びの足あとシート</li> <li>・ホワイトボード</li> <li>・数字のカード(第1～8段落)</li> </ul>
	6	筆者の説明の仕方確かめて、単元の学習を振り返る。	<p><b>説明のしかたの工夫をまとめよう</b></p> <p>①これまでの学習を振り返り「アップとルーズで伝える」の説明のしかたの工夫を確かめる。</p> <p>②見つけた説明のしかたの工夫について全文シートに線を付け足しながら教材文を読む。</p> <p>③単元の学習を振り返る。</p>	<p>①個人→ペア(グループ)→全体など学習形態を工夫する。</p> <p>①整理したものが、今後の学習に生かせるように模造紙に書いて張り出しておく。</p> <p>③単元の振り返りを記入し、学級全体で共有する。</p>	説明のしかたについて考えたことについて単元の学習を振り返っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アップとルーズで伝える」全文シート</li> <li>・「アップとルーズで伝える」学びの足あとシート</li> <li>・説明の工夫を書いた画用紙</li> </ul>
	7	単元の学習を生かして、これまでに学習した説明文を読む。	<p><b>「アップとルーズで伝える」で学習したことを生かして、説明の工夫を見つけよう</b></p> <p>①第3学年で学習した「すがたをかえる大豆」を説明の工夫を意識しながら読む。</p> <p>②見つけた工夫を観点別に整理する。</p> <p>③学習を振り返る。</p>	<p>①「アップとルーズで伝える」の学習を振り返り、文章全体の構成、段落同士の関係、写真の使い方や順番という説明の工夫の観点を確認する。</p> <p>①説明の工夫を見つけるという意識をして、印をつけながら読む。</p> <p>※実態に応じて、ホワイトボードで整理する時間を設ける</p> <p>②個人→ペア(グループ)→全体など学習形態を工夫する。</p>	別の説明文を読み、本単元の学習を生かして、説明の工夫を見つけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アップとルーズで伝える」学びの足あとシート</li> <li>・「すがたをかえる大豆」の全文シート</li> <li>・説明の工夫を書いた画用紙</li> </ul>

